



南山城相談支援センターニュース

★専門家と連携した相談支援の紹介★

南山城相談支援センターでは、外部の専門家と連携して相談支援の業務を行っています。

<専門家と連携した相談例①>

発音の不明瞭な幼児の実態把握を言語聴覚士 (ST) の先生と一緒にいき、今後必要なトレーニング方法等について検討しました。



<専門家と連携した相談例②>

自立活動の授業の中で行う、「からだ」の取組の内容を、作業療法士 (OT) や理学療法士 (PT) の先生と一緒に考えました。



この他にも、様々な専門家と連携をして相談業務をおこなっておりますので、御希望がある場合は、相談支援センターに御相談ください。

今年度の外部の専門家

- ・大学教員
- ・理学療法士 (PT)
- ・臨床心理士 等
- ・医師
- ・言語聴覚士 (ST)
- ・作業療法士 (OT)
- ・オプトメトリスト

★支援機器の紹介★

相談支援センターに新しい支援機器が入りましたので紹介します。



名 称：ペンでタッチすると読める音声付教科書

使い方：専用のペンで専用の教科書をタッチすると、その部分の文章の音声再生される。

こんな子どもにおすすめ！

- ・文章を読むことに時間がかかったり、すごく疲れたりする。
- ・漢字をよく読み間違える。
- ・目で文章を読むよりも、耳で聞いた方が理解がしやすい。
- ・音読はたどたどしいが、「後追い読み」は上手にできる。



実物を見たいという方や、実際に試しに使ってみたいという方は、相談支援センターに御連絡ください。

★活動報告～特別支援に関する研修会～★

8月23日（火）に、木津川市立相楽小学校で特別支援に関する研修会を行いました。

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に授業でどのような支援を行うと効果的か、実際の事例を踏まえて、検討しました。

研修会の中では、小学校の先生方に、どのような支援を普段行っているかや、どのような支援が効果的だったのかを交流していただきました。



参加していただいた先生方からは「事例で挙げた児童と同じような児童が学級にいるので、対応の仕方や学級のルールづくりの方法が参考になりました。2学期からさらに取組をしていきたいと思えます。」「『できないことを減らすより、できることを増やしてく』という考え方はどの子どもでも実践できることだと思うので、これから意識していきたいと思いました。」等の感想をいただきました。

南山城相談支援センターでは、特別支援に関する研修支援を実施していますので、校内研修等の際に御活用ください。

★書籍の紹介★

南山城相談支援センターでは特別な教育的ニーズのある児童生徒の指導に役立つ書籍が複数置いてあります。今回は、その一部を紹介します。

書籍名:教室の中のワーキングメモリ 弱さのある子に配慮した支援 (写真上)

書籍名:ワーキングメモリを生かす指導法と読み書き教材 (写真下)

著者:広島文化学園大学 准教授 河村 暁 (2冊両方)

ワーキングメモリの弱い児童生徒は学習面で様々な困難が生じると言われています。その困難さをフォローする授業の方法や教材について紹介されている書籍です。

支援方法や教材が具体的に紹介されているので、教室での指導にすぐに生かしやすい内容となっています。

通常の学級での支援だけでなく、特別支援学級や通級指導教室での指導にも役立つ内容となっています。



南山城相談支援センター 連絡先

TEL 0774-72-7255

FAX 0774-72-7256

